

企業の会津大学に関する
アンケート調査報告書

平成14年12月

会津若松商工会議所
(財)会津地域教育・学術振興財団

当財団は、会津地域における教育・文化及び学術研究の振興と地域の発展を図るため、平成4年3月に設立された財団であり、皆様からの善意あるご寄附により運営されています。

皆様からのご寄附をお待ち致しております。

(当財団は特定公益増進法人の認可を頂いており、税法上寄附金控除が受けられます。)

当財団の主な活動は以下の通りです。

- 会津大学生に対する学会発表のための助成
- コンピュータ活用に関わる講演・講習会等の支援事業
- 寄宿舍運営等の事業
- 会津方部の高等学校に対する図書購入費の助成
- 地域小学生に対するパソコン教室の開催
- 地域企業に対するパソコン指導等

企業の会津大学に関するアンケート調査

1 目 的 会津大学及び学生に対して、地元企業が何を期待し求めているのか等のニーズを調査・分析し、今後の当財団事業動の参考にすることを目的とする。

2 調査時期 平成14年11月1日～12月10日

3 調査方法 郵送による回収(記名式)

4 調査対象 会津若松商工会議所会員事業所500件
(従業員数により抽出)

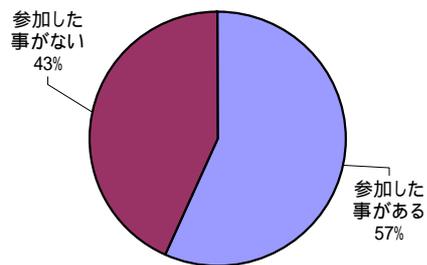
5 回 収 106票(21.2%)

Q1 会津大学との関わりについて

(1)行事等参加の有無

| 項目 | 件数 | % |
|----------|-----|--------|
| 参加した事がある | 60 | 56.6% |
| 参加した事がない | 46 | 43.4% |
| 合 計 | 106 | 100.0% |

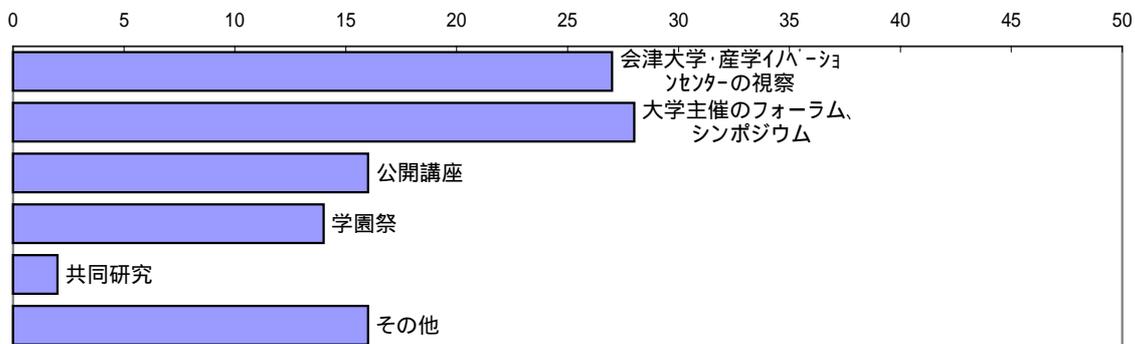
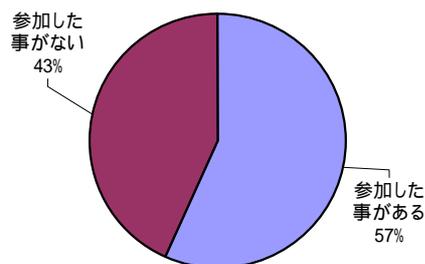
(1)行事等参加の有無



(2) 参加行事名 (複数回答)

| 項目 | 件数 |
|-----------------------|----|
| 会津大学・産学イノベーションセンターの視察 | 27 |
| 大学主催のフォーラム、シンポジウム | 28 |
| 公開講座 | 16 |
| 学園祭 | 14 |
| 共同研究 | 2 |
| その他 | 16 |

(1) 行事等参加の有無

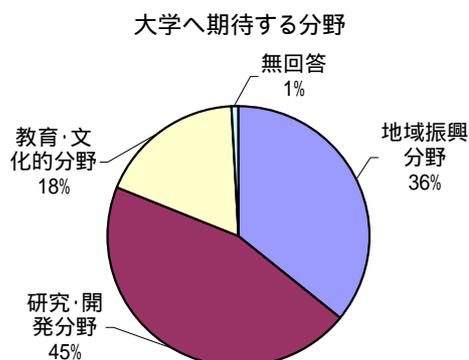


- その他
- ・大学外主催のフォーラムへの参加(5社)
 - ・コンピュータサイエンスサマーキャンプへの参加(3社)
 - ・サマーパーティーへの出席
 - ・求人募集
 - ・会場借用
 - ・産学懇話会への出席

会津大学関係事業に参加した企業は全体の57%である。
 内容については「フォーラム・シンポジウム」が最も多く、次いで「視察」と続くが、「共同研究」という回答が少なく、今後もニーズとシーズのマッチングが必要である事がわかる。

Q2 会津大学へ期待する分野

| 項目 | 件数 | 14年度 | 13年度 |
|----------|-----|--------|--------|
| 地域振興分野 | 38 | 35.8% | 44.2% |
| 研究・開発分野 | 48 | 45.3% | 38.7% |
| 教育・文化的分野 | 19 | 17.9% | 14.0% |
| 無回答 | 1 | 1.0% | 3.1% |
| 合計 | 106 | 100.0% | 100.0% |

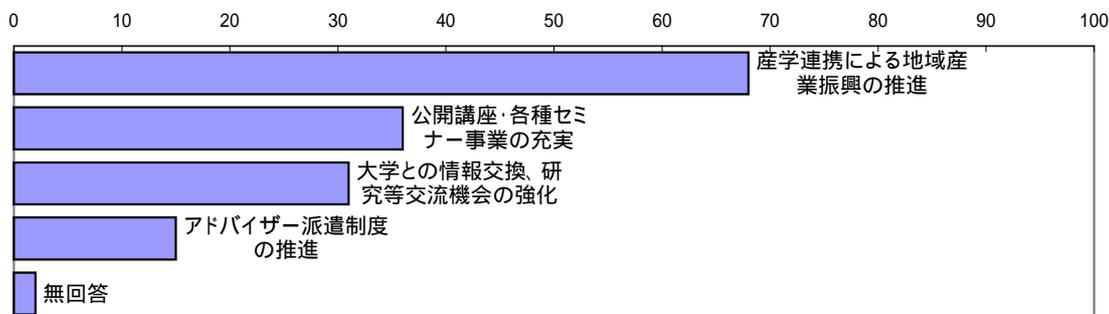


「地域振興分野」「研究・開発分野」で全体の81%を占めており、会津大学を核とした具体的な取り組みを検討する必要がある。

Q3 大学と地域とのつながりとして必要なもの(複数回答)

| 項目 | 件数 |
|---------------------|----|
| 産学連携による地域産業振興の推進 | 68 |
| 公開講座・各種セミナー事業の充実 | 36 |
| 大学との情報交換、研究等交流機会の強化 | 31 |
| アドバイザー派遣制度の推進 | 15 |
| 無回答 | 2 |

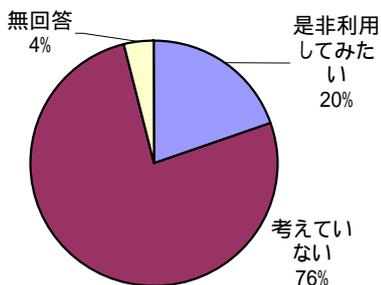
「産学連携による地域産業振興の推進」という回答が最も多く、Q2の大学へ期待する分野と同様、具体的な地域振興策への期待が伺える。



Q4 自社システム開発等への会津大生の利活用

| 項目 | 件数 | 14年度 | 13年度 | 12年度 |
|-----------|-----|--------|--------|--------|
| 是非利用してみたい | 21 | 19.8% | 27.1% | 19.0% |
| 考えていない | 81 | 76.4% | 69.0% | 80.2% |
| 無回答 | 4 | 3.8% | 3.9% | 0.8% |
| 合計 | 106 | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

会津大学生の利活用



「是非利用してみたい」という回答が13年度と比較して7.3ポイント減少しているが、20%の企業は前向きに考えており、共同研究やインターンシップ等を推進し、大学と企業との連携強化を図る環境づくりが必要である。

Q5 Q4で「是非利用してみたい」と回答した企業の具体的内容

- 各種システム・プログラム開発（9社）
 - ・応用測量でのGPS利用
 - ・データベースのカスタマイズ・スクリプト作成
 - ・写真を漆器へ応用する技術
 - ・地域GISの研究・開発
 - ・在庫管理システム
 - ・原価管理システム
 - ・顧客管理システム
 - ・市場調査システム
 - ・javaでのアプリ開発
- 既存システムの充実（2社）
- 市販ソフトの指導
- ホームページの作成

【参考：平成13年度調査】

- 各種システム・プログラム開発（6社）
 - ・生産管理（2社）
 - ・在庫管理
 - ・顧客管理
 - ・宿泊予約
 - ・原価管理（実施中）
- IT関連のアドバイス、パソコン全般の指導（5社）
- ソフト開発（3社）
- ホームページの作成・更新（3社）
- 支店・工場間のネットワーク構築
- 福祉介護に関するシステム

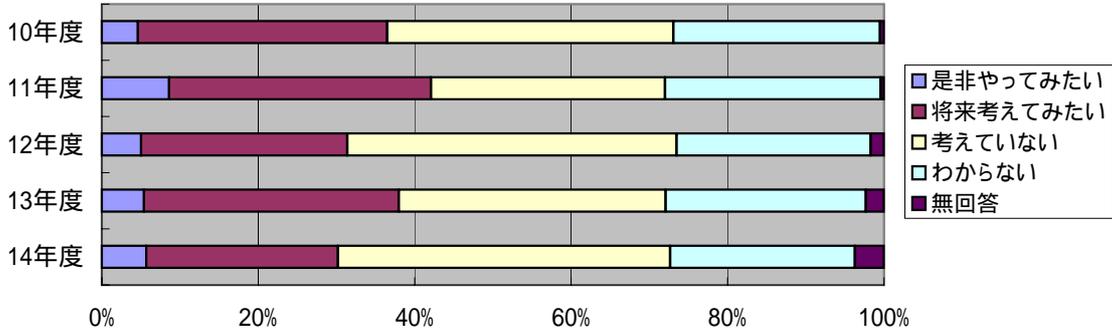
Q6 Q4で「考えていない」と回答した企業の具体的理由

- ・企業内システム開発は本社・親会社で行っている（8社）
- ・市販のソフトで十分（6社）
- ・どの分野で利用できるかがわからない（6社）
- ・業種が合わない（5社）
- ・学生がどれだけできるか疑問（4社）
- ・環境が整っていない（2社）
- ・情報漏えい防止のため共同研究は難しい（2社）
- ・システム開発を独自で行う企業規模ではない（2社）
- ・学生の利活用では卒業後のフォローアップができない（2社）
- ・自社企業システム開発と会津大学の指向分野がマッチングすれば利用も在り得る
- ・飛躍的效果は見込めない
- ・すでに東北大・山形大と連携している
- ・他の問題点が先決
- ・実績がわからない

Q7 会津大生との共同研究による起業化について

| 項目 | 件数 | 14年度 | 13年度 | 12年度 | 11年度 | 10年度 |
|----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 是非やってみたい | 6 | 5.7% | 5.4% | 5.0% | 8.6% | 4.6% |
| 将来考えてみたい | 26 | 24.5% | 32.6% | 26.4% | 33.5% | 31.9% |
| 考えていない | 45 | 42.5% | 34.1% | 42.1% | 29.9% | 36.6% |
| わからない | 25 | 23.6% | 25.6% | 24.8% | 27.6% | 26.4% |
| 無回答 | 4 | 3.7% | 2.3% | 1.7% | 0.4% | 0.5% |
| 合計 | 106 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

会津大生との共同研究による起業化



「是非やってみたい」「将来考えてみたい」という回答を合わせると、約30%が前向きに起業化を考えている。また、下記のように具体的な取り組みを検討している企業もあり、共同研究機会充実の必要性が伺える。

Q8 Q7で「是非やってみたい」と回答した企業の具体的な内容

- ・GISシステムの構築
- ・人間のストレスレベルを計る測定器の開発
- ・高齢者介護事業
- ・地域交流と子育て支援
- ・福祉介護のサポート事業

【参考：平成13年度調査】

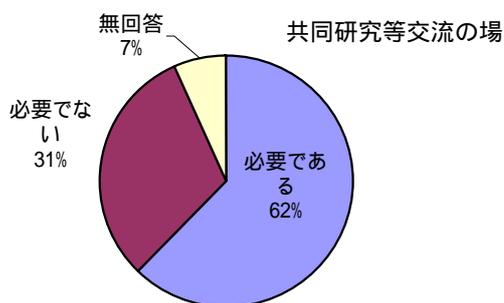
- ・福祉介護のシステム会社
- ・ネット販売会社
- ・アウトソーシング会社
- ・大学の研究室と取り組んでいる「マルチメディアを用いた意思伝達のためのインターフェイス研究とソフト開発」
- ・一品特化型ベンチャー企業を地域外の会社と協力してつくり、社長を学生に任せたい。

Q9 Q7で「考えていない」と回答した企業の具体的内容

- ・業種により必要がない(5社)
- ・現在の仕事にどう役立つかわからない(4社)
- ・研究内容・開発実績等の情報がない(2社)
- ・自社にて十分
- ・費用負担ができない
- ・自社研究所があるため
- ・本社等上部機関での決定事項のため

Q10 会津大生との共同研究等交流の場

| 項 目 | 件 数 | 14年度 | 13年度 | 12年度 | 11年度 |
|-------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 必要である | 66 | 62.3% | 54.3% | 39.7% | 50.0% |
| 必要でない | 33 | 31.1% | 38.0% | 47.9% | 50.0% |
| 無回答 | 7 | 6.6% | 7.7% | 12.4% | 0.0% |
| 合 計 | 106 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |



「必要である」という回答が13年度と比べて8ポイント増加しており、ますます交流の場が必要である。

Q11 Q10で「必要である」と回答した企業を対象。どのような交流・場所を望むか。

【交流形式】(複数回答)

| 項 目 | 件 数 |
|-------------------|-----|
| 研究者への相談 | 32 |
| 学習会や研究会等研究発表・討論の場 | 36 |
| ホームページを利用したサロン | 16 |
| その他 | 5 |

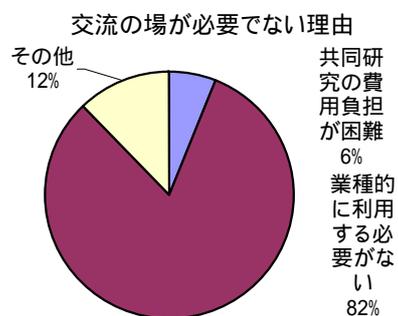
その他
・データ収集、情報分析、計画の指針

【交流場所】(複数回答)

| 項 目 | 件 数 |
|-------------------|-----|
| 会津大学産学イノベーションセンター | 45 |
| 学生食堂 | 6 |
| 市内空き店舗 | 8 |
| 寄宿舍 | 0 |
| その他 | 1 |

Q12 Q10で「必要でない」と回答した企業の理由

| 項 目 | 件 数 | % |
|---------------|-----|--------|
| 共同研究の費用負担が困難 | 2 | 6.1% |
| 業種的に利用する必要がない | 27 | 81.8% |
| その他 | 4 | 12.1% |
| 合 計 | 33 | 100.0% |

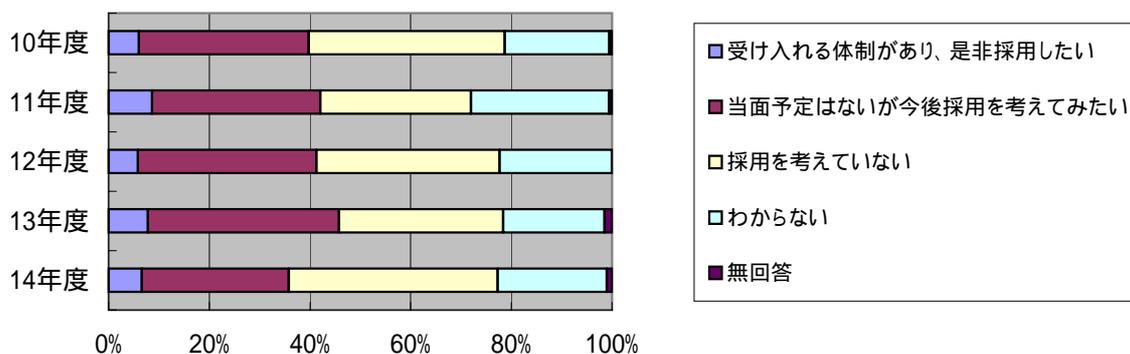


Q4からQ12の回答結果からもわかるように、共同研究・起業化のための交流の場づくりが必要であると判断される。

Q13 会津大生の卒業後の受け入れについて

| 項目 | 件数 | 14年度 | 13年度 | 12年度 | 11年度 | 10年度 |
|---------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受け入れる体制があり、是非採用したい | 7 | 6.6% | 7.8% | 5.8% | 8.6% | 6.0% |
| 当面予定はないが今後採用を考えてみたい | 31 | 29.2% | 38.0% | 35.5% | 33.5% | 33.8% |
| 採用を考えていない | 44 | 41.5% | 32.6% | 36.4% | 29.9% | 38.9% |
| わからない | 23 | 21.7% | 20.1% | 22.3% | 27.4% | 20.8% |
| 無回答 | 1 | 1.0% | 1.5% | 0.0% | 0.6% | 0.5% |
| 合計 | 106 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

会津大生の卒業後の受け入れ



Q14 Q13で「受け入れる体制があり、是非採用したい」と回答した企業の採用時期、採用人数等

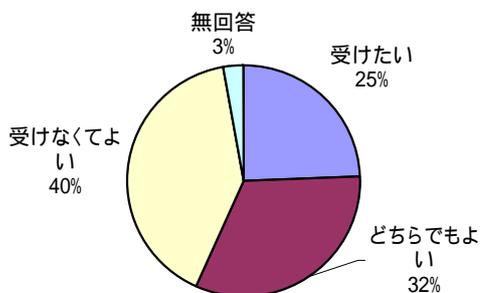
- ・未定だが若干名(2社)
- ・随時
- ・平成15年度以降
- ・毎年3月に2名ずつ
- ・毎年1名程度
- ・平成15年4月

「受け入れる体制があり、是非採用したい」、「当面予定はないが今後採用を考えてみたい」という回答を合わせると35.8%であり、会津大生への期待は高いものがある。上記のように優秀な人材を採用したい企業もあり、マッチングさせるための説明会等具体的対策を講じる必要がある。

Q15 会津大学生による企業パソコン指導の希望

| 項目 | 件数 | 14年度 | 13年度 |
|---------|-----|--------|--------|
| 受けたい | 26 | 24.5% | 31.8% |
| どちらでもよい | 34 | 32.1% | 38.0% |
| 受けなくてよい | 43 | 40.6% | 27.9% |
| 無回答 | 3 | 2.8% | 2.3% |
| 合計 | 106 | 100.0% | 100.0% |

企業パソコン指導の希望

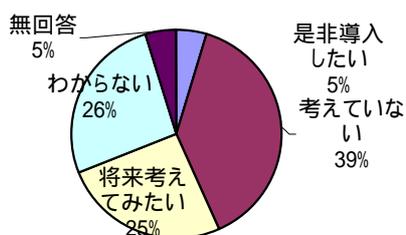


学生と企業とのマッチングを促進するため、今後もPRを展開する必要がある。

Q16 インターンシップ制度の導入について

| 項目 | 件数 | 14年度 | 13年度 | 12年度 | 11年度 |
|----------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 是非導入したい | 5 | 4.7% | 7.0% | 8.3% | 5.1% |
| 考えていない | 41 | 38.7% | 30.2% | 30.6% | 31.5% |
| 将来考えてみたい | 27 | 25.5% | 37.2% | 38.0% | 36.0% |
| わからない | 28 | 26.4% | 20.9% | 22.3% | 25.4% |
| 無回答 | 5 | 4.7% | 4.7% | 0.8% | 2.0% |
| 合計 | 106 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

インターンシップの導入について



「是非導入したい」「将来考えてみたい」という回答が合わせて30.2%を占めており、当制度の普及・促進を図るため、更なるPR等が必要である事が伺える。

Q14 会津大学・会津大学生についての意見・要望

会津大学について

- ・学部の増設が必要。多くの学部を持ち、地元の学生を多く受け入れることにより、大学周辺の活性化につながる。共同研究等の堅苦しい事ではなく、ソフト面での交流が必要である。
- ・公開講座へ参加したいが時間が合わない。仕事を持っている人にも参加しやすい時間帯にしてほしい。
- ・大学のイメージが堅苦しく、関わりにくい。
- ・教育のレベルを上げ、一流大学と評価されるようになってほしい。
- ・地域活性化のため、コンピュータによる試みと一般市民との話し合いにより、会津大学の役割を考えたい。
- ・身近に考えられない。商店街（神明通り）の一角に出先機関を設け、PRすべき。

会津大学生について

- ・卒業後も会津に貢献してほしい。
- ・組織人として活躍してほしい。・ぜひ採用したい。将来会社の中核を担ってほしい。
- ・あまり身近に感じない。アルバイト採用も考えられない。
- ・人との付き合い方がわからない学生が多い。

- ・人との付き合い方がわからない学生が多い。

その他

- ・卒業後、県外流出を防ぐ体制づくりを各企業で進めていくべき。
- ・当社の業種から、会津大学・会津大学生との関連は薄い。しかし、地域振興のためには、地域企業と会津大学との連携は必要である。
- ・県内の他大学と比較して、駅から近い立地条件にあるため、地元企業との交流の場を設けるべき。